



ネルソン・ロリハラハラ・マンデラ (南アフリカ)
アフリカ 自由のシンボル
黒人解放運動の指導者。アパルトヘイト (人種を理由に差別した政策) に反対し28年間牢屋に入れられた。ノーベル平和賞受賞。

エレン・ジョンソン・サーリーフ (リベリア)
アフリカで初めての女性大統領
亡命やろうやに入れられても活動続け、民主選挙で誕生した。その活躍ぶりから賞賛をこめて「鉄の女」とも呼ばれている。ノーベル平和賞受賞。

オビアゲリ・エセクウェシリ (ナイジェリア)
国際社会が敬意を払う女性
世界銀行・アフリカ担当副総裁。汚職・ふはい防止NGOの創設メンバー。誠実な仕事が高く評価されている。

ハイレ・ゲブラセラシエ (エチオピア)
国民の希望と誇りをかけて走るクレートランナー
1万メートル世界陸上4連覇を果たし、オリンピック金メダル2連覇。07年マラソン世界新記録。10人兄弟の8番目生まれ。

アハメッド・ズウェイル (エジプト)
ケンブリッジ大学が名博士号をおくった化学者
アメリカに移住し、フェムト秒化学の発展につくす。エジプトで3人目のノーベル賞受賞者。
※フェムト秒とは、1000兆分の1秒のこと。フェムト秒化学は、光 (レーザー光) を使って、化学反応を一瞬 (フェムト秒単位) で捉える技術で、ハイテクや生命科学の発展に大きく役立っています。

アレック・ウェック (スーダン)
難民からスーパーモデルに
スーダンの内戦を逃れ、難民となり14歳で渡英。ロンドン芸術大学で勉強中にスカウトされ、トップモデルとなった。

ユッサー・ンドゥール (セネガル)
音楽界のスーパースター
音楽家・歌手。伝統音楽に各国音楽をミックスしたンバラという独自の音楽を確立。「歌うジャーナリスト」と呼ばれ、多くの人からの信頼が厚い。

ジョーン・カウワレ (ナイジェリア)
作家/識者。英国で文学・演劇を学ぶ帰国。精神的な活動が評価されノーベル文学賞受賞。何度か来日し、大江健三郎氏とも対談。代表作は「神話・文学・アフリカ世界」。

スティーン・キプロディク (ウガンダ)
マラソン種目で初の金メダル
ロンドンオリンピック(12年)で、男子マラソンでウガンダ勢初の金メダルに。母国に72年ミュンヘンオリンピック以来2個目の金メダルをもたらした。

世界で活躍するアフリカ出身の人たち

知ってる? アフリカのこと...

横浜の動物園、ズーラシア (●)、ズーラシア (2013年4月以降展示予定) (◎)、金沢動物園 (■)、野毛山動物園 (▼) にいるアフリカの動物たちやアフリカにある日本人学校、日本から渡航している青年海外協力隊員の数などをあげてみました (動物の絵は生息しているおおよその地域をあらわしています)。ズーラシアでは、2013年4月にサバンナゾーンが一部完成し公開されます。(地図上のデータは2012年7月入手)

日本人学校・補習授業学校
出典: 海外子女教育振興財団

日本から渡航している青年海外協力隊員の数
計805名 (2012年7月31日現在)

レアメタル採掘地



地球上に存在する量が少なかったり、取りだすことが難しい、91種類のレアメタル (希少金属) は、「ものづくりにっぽん」を支えるハイテク製品の生産に欠かせません。自動車やパソコン、ケータイにもアフリカから輸入するレアメタルが使われています。アフリカのどの国から輸入されているのか、調べてみましょう。

アフリカ、ともに成長するパートナーへ。

●表面の答え

1. エチオピアの主食「インジェラ」
2. かみの毛を、細いうら三つ編みで
3. 古いタイヤを再生したサンダル
4. 暑い季節に便利なエコ水とう
5. フタでつくったなべき
6. ウガリは日本のおモチみたいな味
7. 荷づくりビニールひも再生うちわ
8. 空きカンでつくった再生ランプ
9. 男性ヘアサロン。ポップな絵だね
10. 赤く色づいたコーヒーの実
11. 南アフリカのヨハネスブルグ
12. 雑貨店、どんなものがあるかな?

写真提供:
Africa Nkai Project, C. Tominaga
H. Yokoyama, I. Fukuzawa
K. Miyamichi, S. Funada-Clasen,
S. Aoki, M. Nagasima,
白樺株式会社
財団法人 野村英世記念会
アジア・アフリカと共生会 (TAA)
協力: よこはま動物園ズーラシア
横浜市立金沢動物園
横浜市立野毛山動物園
よこはまのようづる

